

サタデーふれあいスクール

六月より、土曜日のひとときを、マジック、ハンドベル、囲碁・将棋、パドミントンそして、自由遊びの教室を葉山小学校と図書館を利用して開催しています。(十月からは、一色小新館等)

これは、平成十四年七月の中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」を受けて、文部科学省が、地域の教育力の活性化及び奉仕活動・体験活動の充実を総合的に推進するための補助事業として実施しているものです。

葉山町では、そのひとつ「子ども週末活動等支援事業」を受け、「サタデーふれあいスクール」として開催しています。

「自由遊びの教室」以外は、六月に受



講師を募集し、地域講師のみなさんと仲間との楽しいふれあいを通して、体町を兼ねています。教室によっては、町の文化祭にも参加する教室もあるようです。

「自由遊びの教室」は、青少年指導員・体育指導委員のみなさんの指導により、昔あそびやニュースポーツを体験しています。この教室は、当日会場で受付しています。名前のとおり、自由遊びが基本で、指導員のみなさんが遊んでいる様子を見守ってくださいています。その中で、昔あそびやニュースポーツも指導していただける時間をつくっています。

十一月の開催は、二二日(土)九時から十二時です。毎月広報はやまに予定が掲載されますので、遊びにきてください。

(生涯学習課)



葉山に吹く『学びの風』

～葉山町教育総合プラン～

「教育総合プランに係る町民意向調査」について

町民意向調査について

現在、葉山町では、「この町に住み、育ち、葉山で学べることが良かった」と思える学習環境をつくっていくために『葉山町教育総合プラン』を策定しております。これは、本町の教育施策の基本となるものであり、広く町民の方々のご意向やご意見を反映させる必要があります。そこで、葉山町教育総合プラン策定委員会第二部会では、町民の方々の「教育」に関する今日の実態やニーズ、将来に向けて期待することを伺い、「葉山町教育総合プラン」の策定に向けた基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行っています。

既に町民の方々には9月中旬にご回答をいただき、感謝申し上げます。その後、小・中学生とその保護者の方々及び教員には各学校を通して、また、町立二中学校出身の逗葉高校生を対象に順次調査を実施しました。現在、集計・分析を行い、協議を重ねております。

調査概要

○調査の主体

葉山町教育総合プラン策定委員会第二部会

○調査対象(1450名)

町民120代〜60代各10名ずつ
6地区で300名

小学生13年生・5年生320名
とその保護者320名

中学生1年生・3年生160名
とその保護者160名

高校生1高校1〜3年生50名
小・中学校教員140名

○調査方法

郵送1町民、高校生
学校へ依頼1小・中学生とその保護者、教員

○調査期間

8月25日〜9月12日1町民
9月24日〜10月下旬1小・中学生

とその保護者、高校生、教員

○調査内容

①めざす町民像

②幼児教育・家庭教育

③学校教育 ④文化の振興

⑤スポーツの振興

⑥IT(情報教育) ⑦その他

○分析方法―総合計による「単純集計」及び「グラフ化」・回答者全体の傾向及び年代別、小学生、中学生、高校生、保護者、教員等の属性による傾向の違いの分析



生命を継ぐ、サワガニの親子

—森戸川にて—

葉山町青少年指導員連絡協議会 角田 衛

葉山の森戸川では夏の間、オレンジ色の卵をお腹に抱いたサワガニを見ることが出来ます。そして、約1ヶ月後の秋に多数の子ガニを抱いたサワガニが石の下など巣穴の中でじっと子ガニを放すときを待っています。清流の川だけに住むサワガニは、一生を真水で過ごし、母ガニはお腹の下で子ガニを大切に育てるのです。子ガニは徐々に母ガニのお腹から離れ育って行きます。

人もまばらな秋の森戸川で子ガニ誕生のドラマがくりひろげられます。

子ガニたちは環境の良い森戸川の大自然に旅立って行きます。

そんなサワガニの親子を見ることが出来ます。

◎教室等の環境衛生検査を実施
全ての小・中学校において基準
値を下回る結果となりました。



▲一色小学校耐震補強工事

▼葉山小学校グランド整備工事



『耐震補強・グランド整備』